

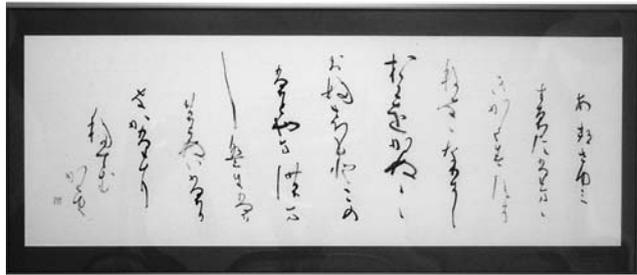
書道展グランプリ作品を町へ寄贈

とうとうひろこ
藤堂洋子さん（小峯）

12月4日に審査が行われた第50回熊日書道展で、藤堂洋子さん（小峯）が見事グランプリの熊日賞を受賞しました。

受賞作品名は「あづさゆみ」。読み人知らずの万葉集の和歌から2首を題材にしたかな作品で、制作に約1か月を要しています。

かな書道を始めたのは8年ほど前からという藤堂さん。「墨の濃淡や字のバランスなどが評価されたとの



受賞作「あづさゆみ」(かな)



受賞の報告に訪れた藤堂洋子さん(中央)と夫の昌邦さん(右)

ことで、ほんとうにびつくりしています」と受賞に驚きを隠せない様子でした。

この作品は、「町のお役に立てることであれば」という藤堂さんのご厚意により、1月8日に町へ寄贈されました。

住永町長は「多くの方に見ていただけるよう大切に展示させていただきます」とお礼を述べました。

作品は、町交流情報センターに展示されています。みなさん、ぜひご覧ください。

子どもたちへ木製玩具の贈り物

上益城地域木材需要拡大推進協議会から

12月18日、上益城地域木材需要拡大推進協議会から、ひろやす保育園（福島章之園長）とひろやす西保育園（福島基紀園長）に木製玩具が贈られました。

これは、子どもたちに木に親んでもらうことで、木の文化や森林、地球環境への理解を広め、ひいては、それによって木材需要の拡大を図ろうと、同協議会が毎年取り組んでいるものです。

住永町長から、郡内のヒノキ材を使った積み木やコロコロ玩具、パズルなどが贈られると、福島園長は「大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



ヒノキ製の玩具を受け取る福島園長(写真中央)



めでたく100歳を迎えた吉川さん

晴れて100歳の長寿を祝う

よしかわ
下寺中灰塚の吉川マサエさん

12月18日に100歳の誕生日を迎えた吉川マサエさん（下寺中灰塚）に同日、長寿を祝う町の敬老祝金と表彰状が贈られました。

吉川さんは、明治42年12月18日生まれ。現在は東熊本病院に入院しています。ご主人は昭和42年に亡くなっていますが、当日は、吉川マル子さん（下寺中灰塚）と山内ハナ子さん（谷川）、泉隆子さん（辻の城団地）の3人の娘さんがお祝いに駆けつけました。

家族や病院のスタッフに囲まれた吉川さんは、住永町長から「いつまでも元気で長生きしてください」と祝福を受けていました。